
きのこじゃないよ、オヤツだよ。

朔架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

きのこじゃないよ、オヤツだよ。

【Nコード】

N1392M

【作者名】

朔架

【あらすじ】

とりあえずきのこの話。
ほぼ会話文です。

「昨日さあ、あたしが嫌いな知ってて、夕飯にきのこがでただけど。」

「あー、しいたけとか駄目な子？」

「や、なんかもうきのこ全般が駄目。」

「そっか。それはきついよね…。」

「でさ、それを親に言ったのそしたらさ、」

〈回想Part1〉

「母さん、あたしきのこだけは絶対食べないって言ったじゃん!!」「ん？そっだっけ？ごーめん、忘れてた。」

終

「つて。」

「あー。君の親、天然はいつてるよねー。」

「それだけならまだいいのよ。その後に聞いたんだけどさ…」

「何があつたの？」

〈回想Part2〉

数日前

「き。この山はおいしい!!やっぱこの食べやすい形がいいよねえ。」

「

「あら、きのこ食べてる。今度お夕飯にだそうかしら。」

終

「つて思ったらしくて!!きのこのはオヤツだし!きのこじゃないし!!」

「あー、君のお母さんホントに天然だね…。」

「天然で片付けるの!？」

きの。の山はオヤツに入りますが、
きのこはオヤツじゃないですよ。

「そんなの分かってるよ!！」

（後書き）

ども、朔架です！。

今日は両方自分的には、コメディー系にしてみました。
というか、気づいたら10作品超えてました。

この調子で頑張りますよ！

ところで皆さん、きの。派ですか？それともた。のこ派ですか？

私は、き。こ派です！！

だって手があんまり汚れない！（そこか！）

最近イチゴ味があるので、とっっても嬉しいです！

やたらと、買ってます（笑）

I LOVE いちご

とか言っておきます。

食べ物ができる場合は基本苺です。

大好きなんです。

苺大福とかショートケーキとか好物です。

そんなこと聞いてない？

これは失礼しました。

では、また別の作品で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1392m/>

きのこじゃないよ、オヤツだよ。

2011年10月7日07時53分発行